With コロナ、After コロナで求められる クラウド／セキュリティスペシャリストを 輩出するモデルを創る

株式会社パソナテック
DX戦略本部　ITサービス事業部
平野　恭祐

自己紹介

平野　恭祐 (Hirano Kyosuke)

株式会社パソナテック
社内：DX戦略本部　ITサービス事業部　事業部長
社外：JTAG 企画運営統括委員

◆保有資格
ITパスポート、情報セキュリティマネジメント、宅地建物取引主任者

◆略歴
大学では国際関係学を専攻、グローバルNPO活動に参画、
2010年パソナテック（新卒）入社。
大手通信キャリア業界を中心としたHR、アウトソーシングサービスのセールスおよびセールスマネージャーを経験後、現職。セールス兼技術部門の責任者として現在はDX事業の企画推進、総合職とエンジニアの人財開発に注力

出身地：群馬県
趣味：旅、VR
好きな言葉：Give&Give

2部講演内容について

- ✓ 所属事業部概要およびBeforeコロナでの雇用形態別、人材開発について冒頭お伝え致します
- ✓ With/Afterコロナでデジタルを活用した「人材開発戦略（誰をどのように育成するか）」の取り組みをご紹介いたします
- ✓ さいごに「人材をどのように活かし、お客様の事業成長を加速させるか」をテーマにお話しをいたします

事業内容

IT/インターネット分野およびエンジニアリング分野における
下記事業を展開しています。

HR solution

■人材派遣
■人材紹介・紹介予定派遣
■人材コンサルティング

Outsourcing solution

■システム運用
■受託開発
■システム導入支援
（AI・IoT/Cloud/RPA）

Global solution

■海外Lab活用/進出支援
■オフショア開発/ITO
■グローバル人材サービス

パソナテックアウトソーシングサービス

パソナテックが全て対応

コンサルティング
- 要件定義
- 業務調査
- RFP作成
- ツール選定/導入

システム運用

Server
- On-premises
- AWS / Azure

Device Management Tool
- Microsoft System Center
- Windows Intune
- Business concier Device Management
- System管理

Network　(無線/スイッチ/ルーター)

ヘルプデスク
- 問い合わせ/作業依頼
- Client PC/スマートデバイス
- インシデント管理
- 資産管理

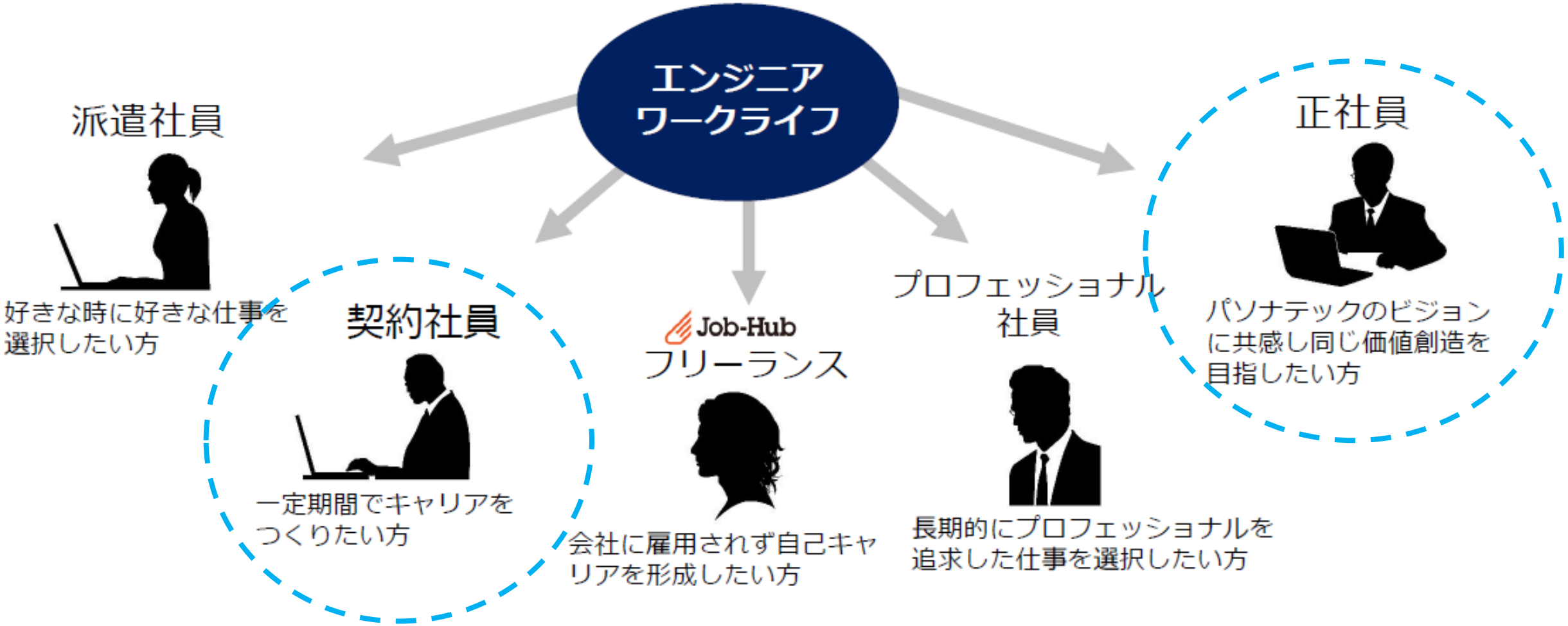
パソナテックDXサービス

	アプローチ	DXサービス	解決する課題	業界/部署
ビジネスモデル変革	デジタル人財／Lab 内製化支援 ビジネスデザイン	ビジネスデザイン	企画フェーズから社外の知見を取り入れ、新ビジネス(プロセス)を創りたい	事業開発担当者
		データ/IoT活用	データドリブン環境を構築したいが、自社に合うアプローチが分からない	製造(自動車)/商社
ビジネスプロセス変革		アプリ/システム企画開発	新サービスを作りたいが、IT知見やリソースが不足し形にできない	EC/流通/飲食
		AIチェック	属人的なチェック業務が多く、ITを活用して自動化したい	WEB広告/人材 建築(建設)/製造
		業務改善プラットフォーム導入	紙やオフィス系ソフトで作成された業務データが社内に分散し整理不能	営業/総務/人事
		ERP(SAP S/4 HANA)導入	テストケースやデータの作成に膨大な工数がかかっている	製造

ITサービス事業部の特徴サマリ

- 営業&技術部門＝製販一体体制
- クラウドインフラ、セキュリティ関連のサービス提供が強み
- 教育研修は全社共通/事業部独自企画運営
- 顧客課題、サービスの多様化により人材開発が喫緊の課題

Beforeコロナにおける人材開発



Beforeコロナにおける人材開発事例①

80名雇用創出

底上げ型

異業種からエンジニアに転身！ 未経験からエンジニアを目指す「Net-Pass」説明会開催

PR TIMES / 2013年11月18日 12時18分

～スペシャルコンテンツ「IT業界紹介セミナー」&「先輩社員の声」オープン～

エンジニアのキャリア創造を支援する株式会社パソナテック（www.pasonatech.co.jp）では、新卒・第二新卒を対象にしたエンジニア正社員採用制度「Net-Pass」（ネットパス　www.pasonatech.co.jp/u25/）の第3期生の募集を開始します。

今回からプログラム説明会とは別に、実際に未経験からエンジニアに転身した先輩エンジニアから直接話を聞けるセミナーを開催。「研修の内容は？」「仕事のやりがいは？」「働き出して困ったことは？」など、応募する前にちゃんと聞いておきたいことを聞けるチャンスです！ぜひご参加ください！

「Net-Pass」では、最大3ヶ月間の研修でネットワークエンジニアとしての基礎や社会人として必要なビジネススキルを習得し、シスコ認定資格であるCCNAの取得を目指します。資格を取得した後はパソナテックの正社員として活躍するステージをご用意します。

Beforeコロナにおける人材開発事例②

70名雇用創出

底上げ型

パソナテック RPAエンジニア人材育成プログラムが評価　オートメーション・エニウェア・ジャパン『Training Award』を受賞

株式会社パソナグループ　　2020年6月17日 10時00分

39 いいね！ シェア　ツイート　はてな　その他

パソナグループの株式会社パソナテックは、企業の業務自動化を支援するRPAプロバイダーのオートメーション・エニウェア・ジャパン株式会社より、同社のビジネスの進展において顕著な実績や功績を上げたパートナー企業に贈られるアワードのうち、Automation Anywhere製品を扱う技術者の育成に最も貢献したパートナー企業に贈られる『Training Award』を受賞しましたのでお知らせいたします。

パソナテックは、2019年にオートメーション・エニウェア・ジャパンと人材サービス会社として初となるトレーニング・パートナーシップ契約を締結し、RPAツール「Automation Anywhere Enterprise」を活用できる人材育成を目的に「Automation Anywhereエンジニア育成プログラム」を実施しています。

そしてこの度、同プログラムでの人材育成の実績などが評価され『Training Award』を受賞しました。

Beforeコロナにおける人材開発事例③

正社員

エース選抜型

◆スクラム開発研修

概要

Scrum Inc.認定資格スクラムマスター研修はスクラムの共同考案者であるJeff Sutherland博士によってつくられました。
このコースの受講者は、何十年に渡り、世界中のビジネスの現場でハイパフォーマンスなスクラムチームを立ち上げてきた、博士の洞察や戦略を自らのものにすることができます。

この2日間のコースは、体験型のワークショップを含み、活気で溢れています。
クラスの参加者は、まずスクラムチームを構成するところから始まります。
紙飛行機ゲームやレゴなどさまざまなゲームやエクササイズを通して、スクラムマスターの役割を体感することができます。
インストラクターの助けを得ながら、チームでプロダクトバックログを作成したり、優先順位付け、バーンダウンチャートの管理をします。

SCRUM MASTER
scruminc.

◆ビジネスデザイン思考研修

◆ビジョン構想研修

◆仮説提案研修

With/Afterコロナにおける人財開発の取り組み

With/Afterコロナにおける組織の課題

従来

- 受注案件への人財供給力、サービス品質向上
- 底上げ/エース選抜、両軸での人財開発

新たな課題

- 非接触を前提としたカリキュラム開発
- 早期戦力化のための実践型カリキュラム
- 参加者の動機付け
- スキル習得後の認定、評価、フォローアップ

With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

・非接触を前提としたカリキュラム開発
・早期戦力化のための実践型カリキュラム

	特徴
自社開発	◆高度スキル保有者の工数確保が必要だが、外部調達より安価 ◆全社共通基礎研修は自社トレーナーで可能、専門研修は工数不足で困難 ◆カリキュラムをゼロから開発すると、立ち上げまでのリードタイムが長い
パートナー企業様 CompTIA	◆内製よりもコストは若干かかるが、早期に立ち上げが可能 ◆全社共通研修で基礎、エッジを利かせたコンテンツはパートナー様活用 ◆高い品質と汎用性。当社クライアント様と共通言語/スキルでPJ進行可能

With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

・事業部主導の人財開発の取り組み
・参加者の動機付け

取り組み

CompTIA Network+ / CompTIA Server+ / CompTIA Cloud Essentials / CompTIA Cloud+ / CompTIA Security+ / CompTIA CySA+

CompTIA Labs
―実践型―

■クラウドインフラエンジニアの育成

お客様の課題を抽出し解決できる業務能力を備え、AWS, Microsoft Azure, GCPといったパブリッククラウド、各企業が持っているプライベートクラウド等、様々なクラウドシステムをキャッチアップ。
最適な実装、運用ができるエンジニアの上位レイヤーへのシフトを可能にする。

■セキュリティスペシャリストの育成

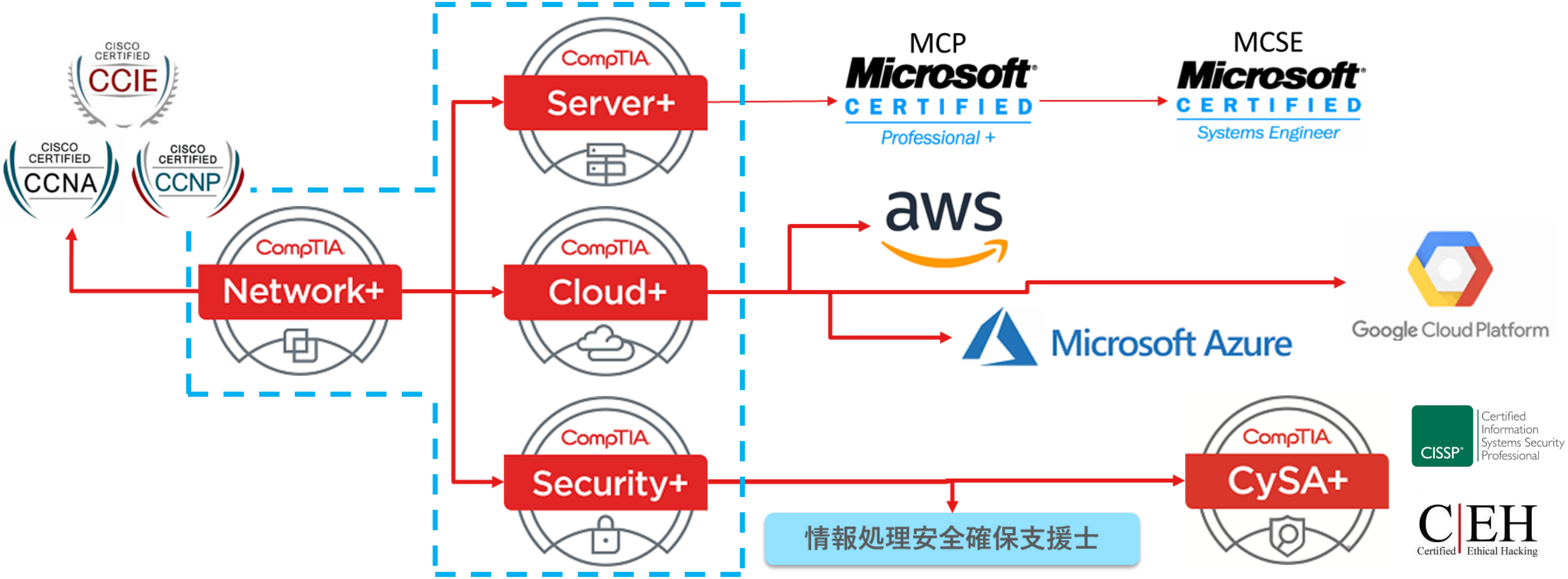
複雑で複合的なシステムが増える中、システム全体のセキュリティの向上のため、セキュリティリスクを分析し、総合的に解決できる業務能力基盤を備える。

With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

・事業部主導の人財開発の取り組み
・参加者の動機付け

取り組み

◆CompTIA－Lab活用により資格取得を目指し、働きながら「基礎力」「実践力」を身に付ける
◆その後はクライアントの需要、本人の志向性に合わせて技術を習得、「応用力」「高度技術力」を高める



With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

・事業部主導の人財開発の取り組み
・参加者の動機付け

対象

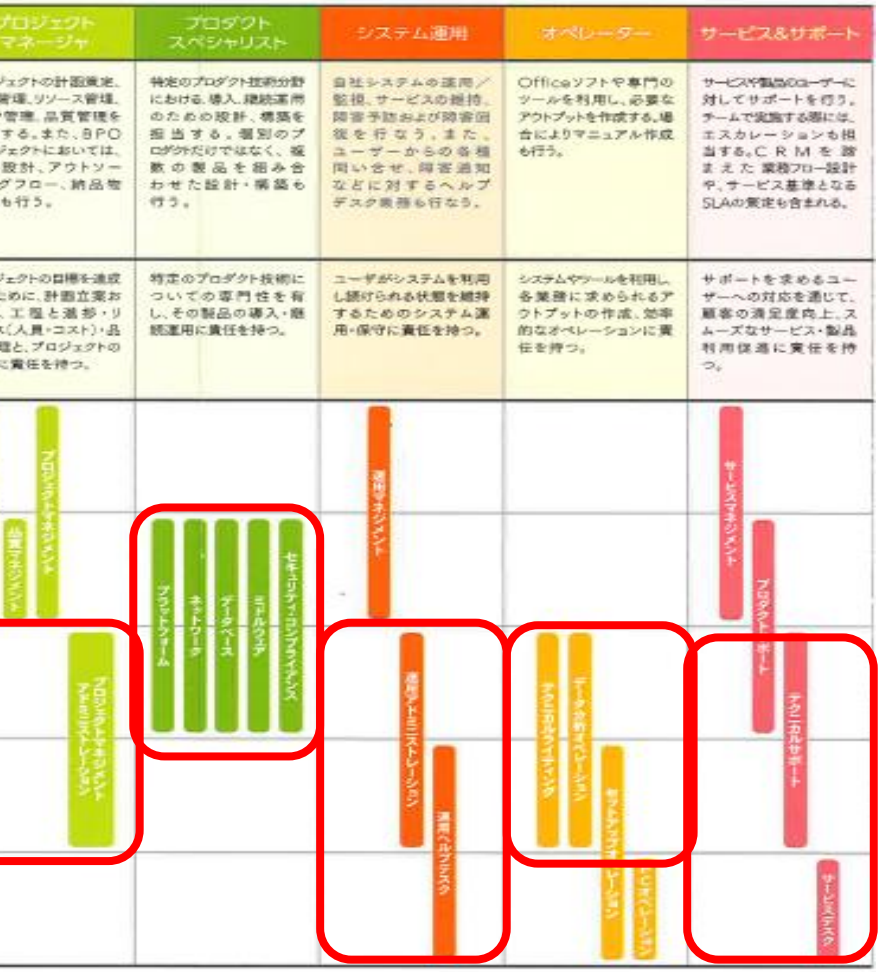
パソナテックPTSS

IT分野

職域	ストラテジスト	アーキテクト	デベロッパ	プロジェクトマネージャ	プロダクトスペシャリスト	システム運用	オペレーター	サービス&サポート
概要	対象となる事業、問題、業務を、新たに創造、分析、整理し、実現に向けたシナリオや、システム化企画、開発範囲の定義、仕様定義を行う。	システム化計画及び仕様に基づいて、必要なソリューションの枠組みを策定し、システム基盤、ソフトウェア構造を設計する。また、システム構成要素における機能設計、データベース設計、運用設計も担当する。	システムやソフトウェアの設計・開発を行う。	プロジェクトの計画策定、進捗管理、リソース管理、リスク管理、品質管理を実施する。また、BPOプロジェクトにおいては、業務設計、アウトソーシングフロー、納品物定義も行う。	特定のプロダクト技術分野における、導入、継続運用のための設計、構築を担当する。個別のプロダクトだけではなく、複数の製品を組み合わせた設計・構築も行う。	自社システムの運用／監視、サービスの維持、障害予防および障害回復を行なう。また、ユーザーからの各種問い合せ、障害通知などに対するヘルプデスク業務も行なう。	Officeソフトや専門のツールを利用し、必要なアウトプットを作成する。場合によりマニュアル作成も行う。	サービスや製品のユーザーに対してサポートを行う。チームで実施する際には、エスカレーションも担当する。CRMを踏まえた業務フロー設計や、サービス基準となるSLAの策定も含まれる。
コンピタンス	事業、問題、業務の専門家として、実施内容、全体計画に責任を持つ。	技術の専門家として、技術部分の実現に責任を持つ。	システム開発の専門家として、担当するシステム・ソフトウェアの開発・実装に責任を持つ。	プロジェクトの目標を達成するために、計画立案および、工程と進捗・リソース（人員・コスト）・品質管理と、プロジェクトの推進に責任を持つ。	特定のプロダクト技術についての専門性を有し、その製品の導入・継続運用に責任を持つ。	ユーザがシステムを利用し続けられる状態を維持するためのシステム運用・保守に責任を持つ。	システムやツールを利用し、各業務に求められるアウトプットの作成、効率的なオペレーションに責任を持つ。	サポートを求めるユーザーへの対応を通じて、顧客の満足度向上、スムーズなサービス・製品利用促進に責任を持つ。

ジョブスコープ（責任範囲）

5	責任者	広い視野を持ち、自らの専門分野において重要な判断を下す責任を持つ。（スコープ：チーム全体～組織全体）
4	専門家	自らの専門分野において、新たな価値を創造することができる。（スコープ：担当分野）
3	専門担当者	定められたルールや手順の中で、試行錯誤し、創造することができる。（スコープ：担当業務）
2	担当者	手順を遵守して、主体的に実行することができる。（スコープ：担当作業）
1	作業者	手順に従って行動することができる。（スコープ：担当作業）



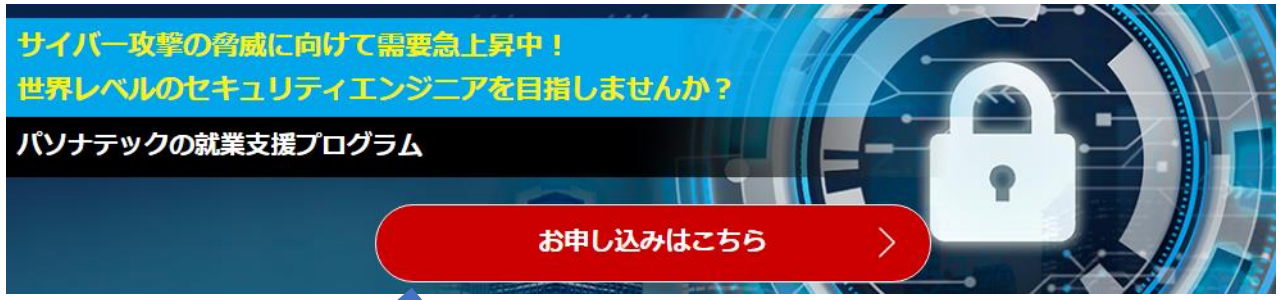
高

業務責任
市場価値
給与

高

With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

参考）サイバーセキュリティスペシャリスト育成プログラム
https://www.pasonatech.co.jp/search/feature/detail.html?p=1606



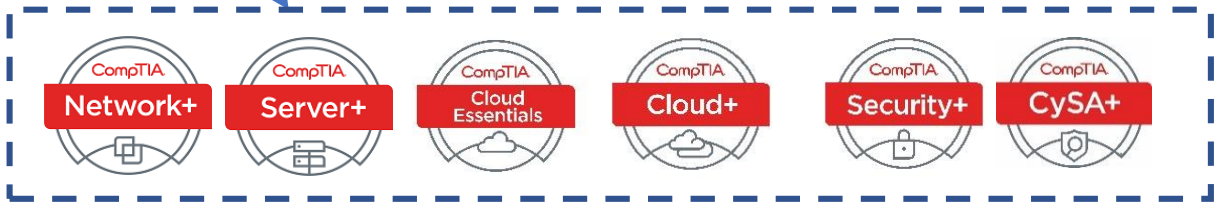
人財開発
カリキュラム

お客様
プロジェクト
OJT

技術向上
コミュニティ

プログラムの流れ

応募 → 選考 → e-learning 学習 → CompTIA Security+取得 → 現場OJT＋専門トレーニング受講 → 本格始動

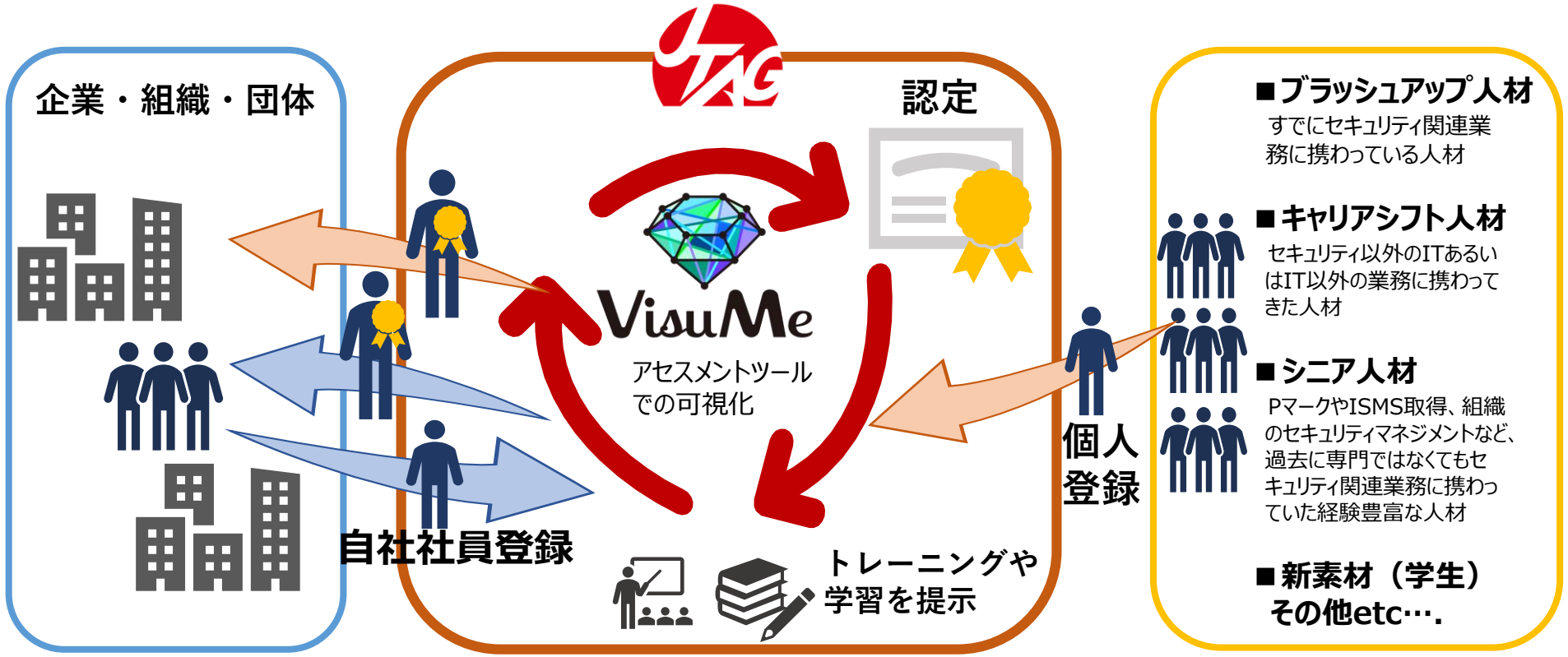


働きながら技術を磨き
習得した技術は講師としてOP
↓
スペシャリストとして
市場価値を高める

With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

・スキル習得後の認定、評価、フォローアップ（セキュリティスペシャリスト）

セキュリティに関係するあらゆる人材に対して精度の高い見える化を実現し実力値を認定する。これにより、効果的で効率的な育成と、必要とされるセキュリティ業務への適材適所がなされることで、社内外における良循環の人材流動化を促進していく。



セキュリティスペシャリストの見える化/エコシステム構築

出典：（一財）JTAG

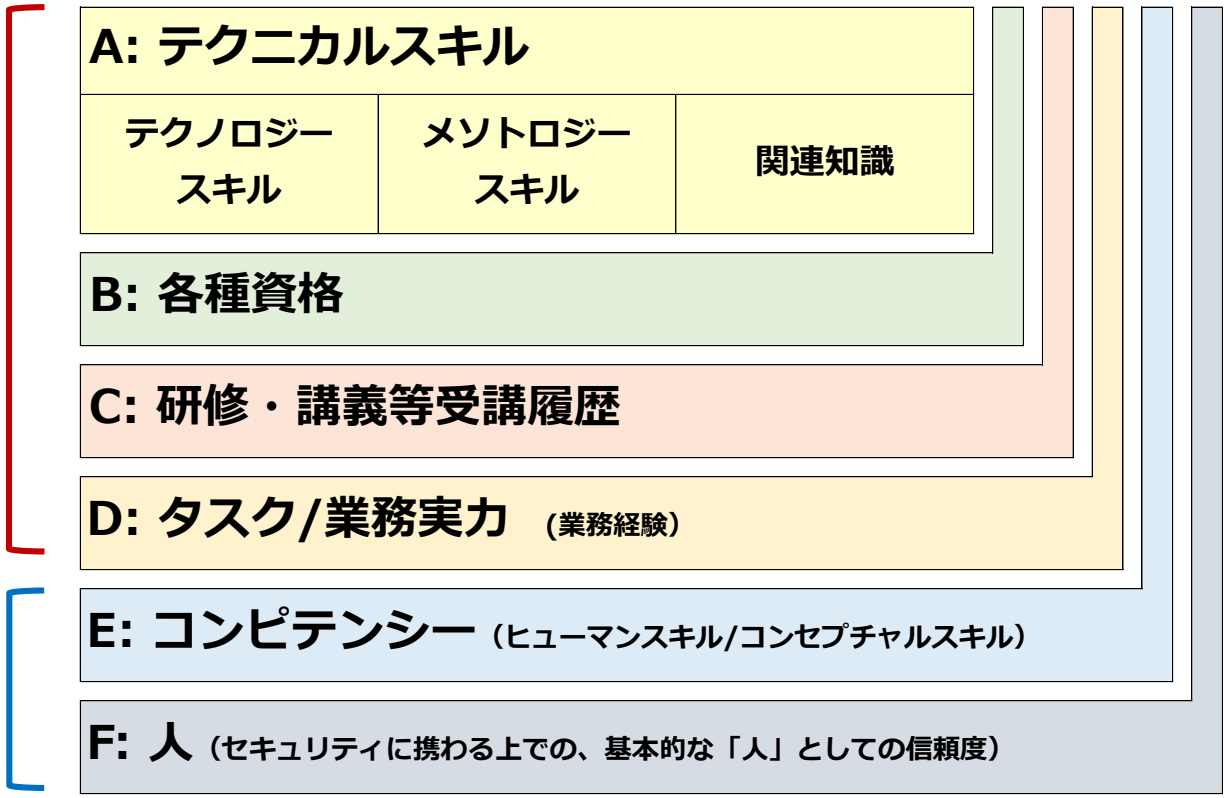
With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

・スキル習得後の認定、評価、フォローアップ（セキュリティスペシャリスト）

見える化の指標

能力診断
Capability Assessment
for Digital Security

適性資質･行動特性診断
Competency Assessment

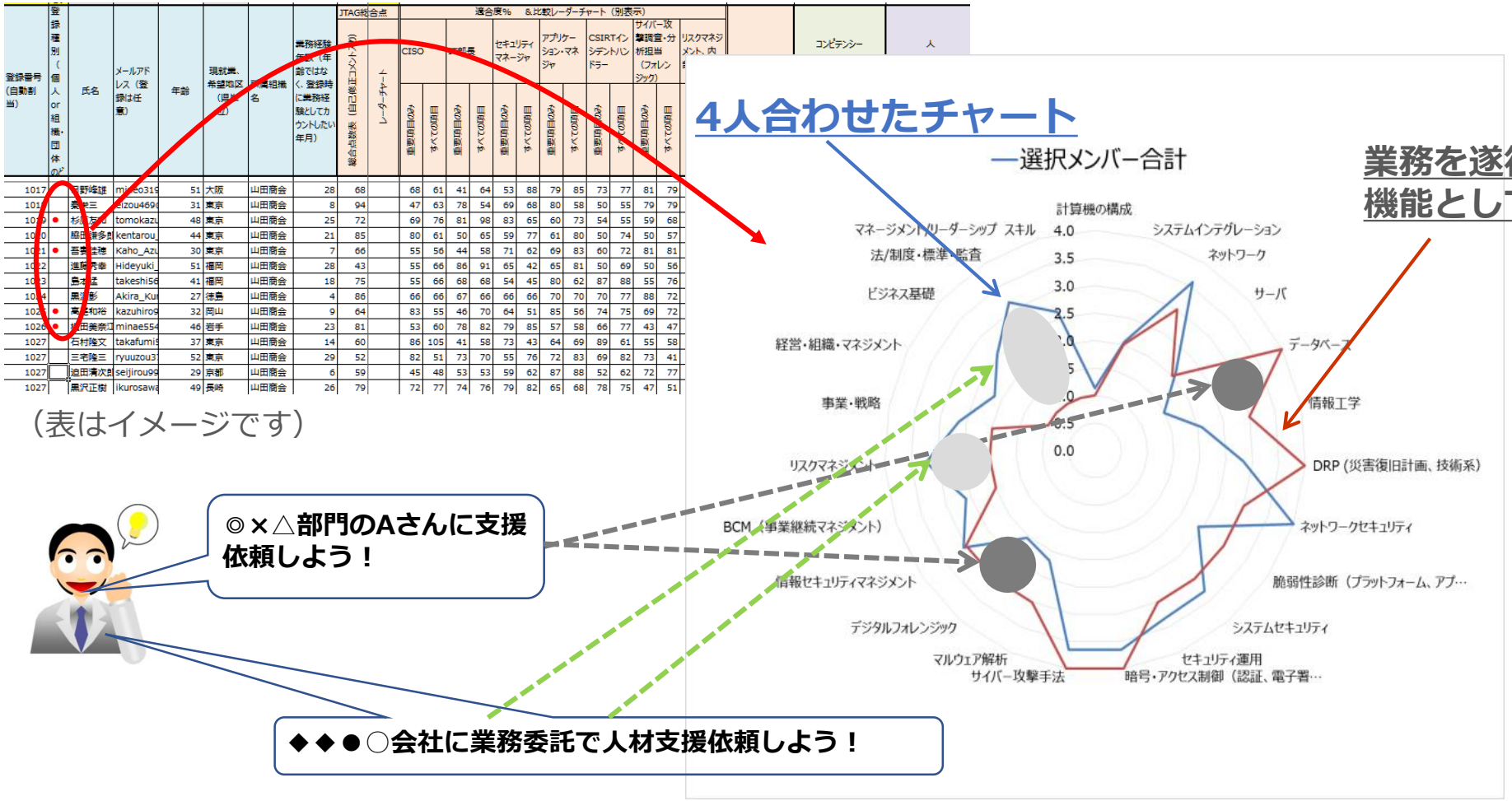


●能力診断の部分（A～D）
・SecBokやiCD、ITSSをベースに組み立て。
・技術要素に偏ることなく広範囲のスキルについて指標を置き、多岐に渡るセキュリティ関連業務に対して対応。
●適性資質・行動特性診断の部分（Ｅ～Ｆ）
・能力診断部分との相関分析により、より適材適所の参考情報の提供（計画中）

With/Afterコロナにおける人材開発の課題と取り組み

活用例）組織やチーム、プロジェクト編制などへの人員調達、配置の活用

＜例＞わが社ではセキュリティ緊急対応チームを編成する予定。
既存のシステム部門からの予定メンバー4人で機能するか？外部調達が必要か？どんなスキル？



（表はイメージです）

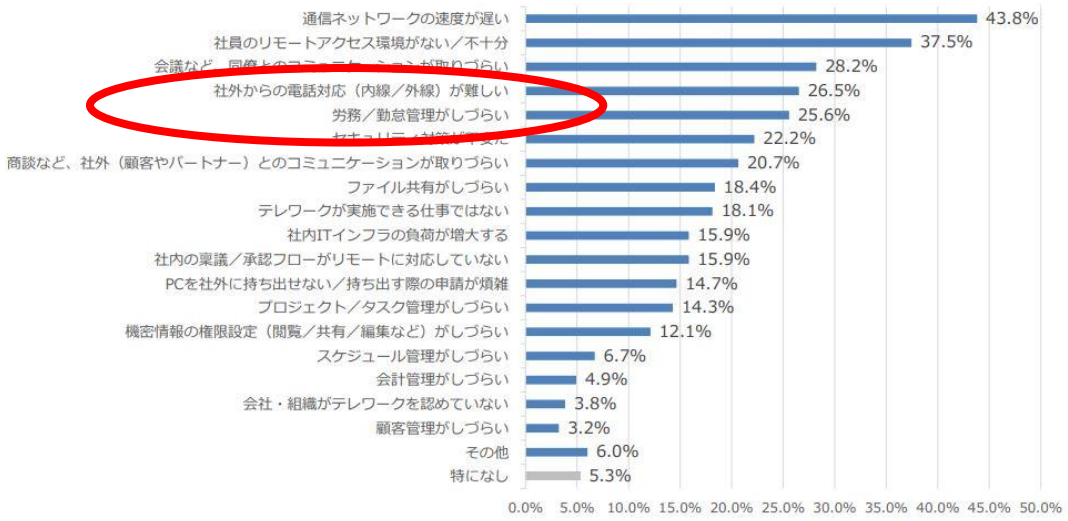
何故パソナテックがやるのか？

本取り組みの社会的意義

Q2. テレワークの懸念材料

ITmedia NEWS

テレワークを実施・検討する上で、どのような点が懸念材料になっていますか？　当てはまるものを全てお選びください。



N=833

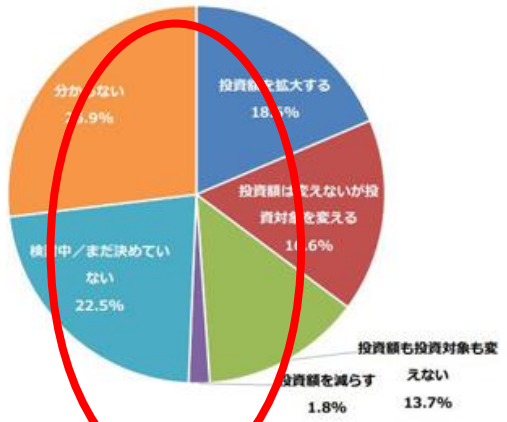
「通信ネットワークの速度が遅い」が43.8%、「社員のリモートアクセス環境がない／不十分」が37.5%とテレワーク環境の不十分さがネックになっていることが分かりました。

Copyright © 2020 ITmedia Inc.

Q3. テレワーク課題解消に向けたITシステムへの投資動向

ITmedia NEWS

Q2で聞いた課題の解消に向けて、自社のITシステムへの投資意欲に変化はありますか？　最も当てはまるものをお選びください。



「投資額を拡大する」が18.6%、「投資額は変えないが投資対象を変える」が16.6%と約35%が従来以上、または従来とは異なる対象への投資を検討していることが分かります。

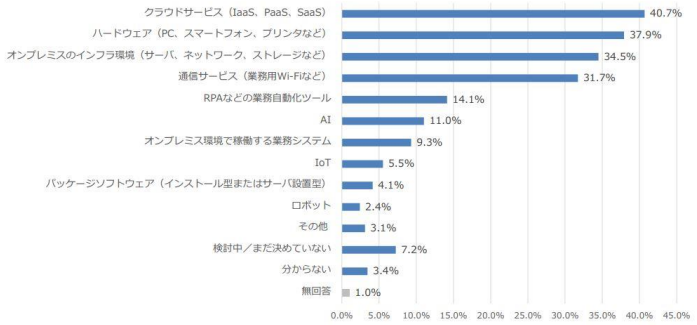
N=833

Copyright © 2020 ITmedia Inc.

Q4-1. テレワーク課題解消に向けたITシステムへの投資対象

ITmedia NEWS

Q3で「投資額を拡大する」「投資額は変えないが投資対象を変える」と答えた方にお伺いします。お勤め先は、どのようなITシステムへの投資を行う方針ですか？　当てはまるものを全てお選びください。

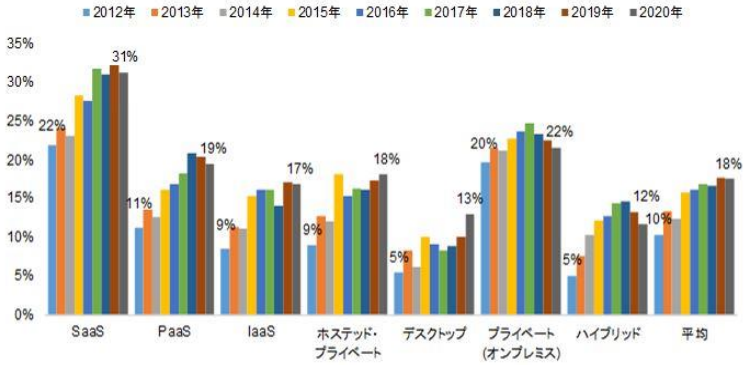


「クラウドサービス（IaaS、PaaS、SaaS）」が40.7%と最も多い結果となりました。
次いで**「ハードウェア」が37.9%、「オンプレミスのインフラ環境」が34.5%**でした。

n=293
※「投資額を拡大する」「投資額は変えないが投資対象を変える」を選んだ方のみ

Copyright © 2020 ITmedia Inc.

日本におけるクラウド・コンピューティングの導入率：2020年



クラウドの浸透は、相当スローな状況

IaaS＝サービスとしてのインフラストラクチャ、PaaS＝サービスとしてのプラットフォーム、SaaS＝サービスとしてのソフトウェア
出典：ガートナー／調査：2020年1月（n=515、日本）

出典：ITmedia　https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2007/29/news040.html

本取り組みの社会的意義

図 1　テレワークにおける脅威と脆弱性について

サイバー攻撃、「脅威」5割に上昇　1300社の開示分析

ネット・IT　エレクトロニクス　自動車・機械　サービス・食品

2020/9/24 11:00 | 日本経済新聞　電子版

保存　共有　その他

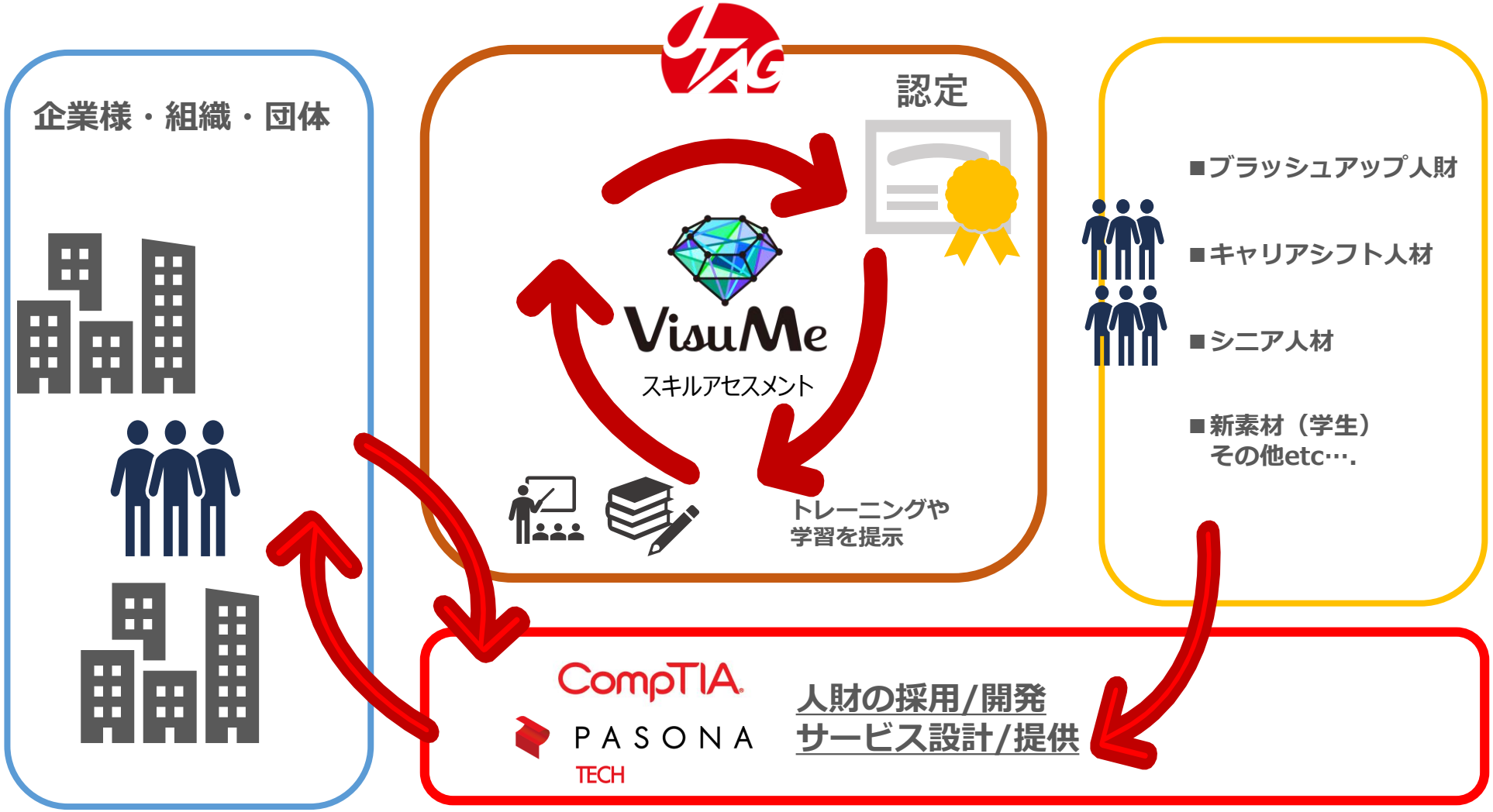
企業が多様化するリスクへの対応を急いでいる。東証1部上場1300社の有価証券報告書のリスク記載を調べると、深刻化するサイバー攻撃には5割の企業が言及した。ただ、海外企業に比べるとまだ認識は甘い。1年前の有報では大半が感染症に言及せず、結果として新型コロナウイルス対策で後手に回った。的確なリスク開示と備えが重要になっている。

⇒社会課題解決に必要な専門人財を増やすことがパソナテックの使命

出典：総務省　テレワークガイドライン
日本経済新聞　電子版

本取り組みの社会的意義

⇒「社会課題解決に必要な専門人財を増やす」



共にエコシステム構築をしていただけるパートナー様を探しています

出典：（一財）JTAG

本日のサマリ

1部

◆デジタル人財開発のアプローチ方法

◆人財を活用した「共創」の取り組み

2部

◆事業部主導による人財開発の事例

◆パートナー企業様との共創、
人財開発による社会課題解決

＜お問い合わせ先＞

PASONA TECH

株式会社パソナテック
DX戦略本部/石川大祐
dishikawa@pasona.tech

DX戦略本部ITサービス事業部/平野恭祐
khirano@pasona.tech